旭山動物園だより

（No.１２１）　　（２００７年６月２２日）

7月1日に旭山動物園開園４０周年を迎えます。
開園時間は夜の7時１５分まで延長します。ゆったりとご覧ください。

ASAHIYAMA Zoo

発行所
動物資料展示館
旭川市
旭山動物園
☎ 36-1104

読み聞かせの会のお母さんたちが…

写真は２年前、野外ステージで行われた読み聞かせ会の様子です

大きな大きな紙芝居を読んでくれます。紙芝居はお母さんたち手作りの力作です。こちらは野外ステージで見られます。どんなお話がきけるかは当日までのお楽しみにしておきましょう。

あいがとう旭山４０周年

7月1日に旭山動物園は40回目の誕生日を迎えます。この日は皆さんと特別な時間をすごしたいと考えています。感謝の気持ちをこめて、旭川市民を無料でご招待いたします。自分宛の郵便物など、市民であることを示すものを持参してください。

このほか動物園くらぶなどの協力により、さまざまな催しを予定しています。朝から閉園（この日は 19:15）まで企画がもりだくさんです。どうぞ楽しみにして来てくださいね。

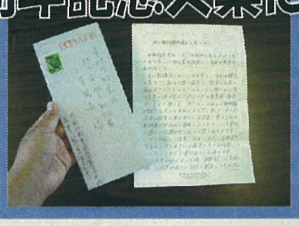
手づくりの記念日

みんなで動物園を考えよう

NPO 法人の旭山動物園くらぶの主催でシンポジウムが開かれます。秋田市や北九州市の動物園の園長さんをお招きし、みなさんと「地方にある動物園はこれからどうしていったらいいんだろう？」と考え、話し合います。ぜひご参加ください。

6月30日 午後１時～４時
ロワジールホテル旭川にて
（旧パレスホテル。７条通６丁目）
参加無料　事前申込必要
お問い合せ・お申込
ＮＰＯ法人旭山動物園くらぶ
電話　３６－７１６７

動物園の思い出作文募集中!! 40周年記念文集に！



動物園での思い出をお寄せ下さい。 40 周年を期に、旭山動物園での思い出を振り返り、つづって記念に残しましょう。文集は動物図書館で保管する予定です。
書いた作文は、
旭川市旭山動物園（旭川市東旭川町倉沼）まで送って下さい。

飼育展示係も企画中！

この日はもぐもぐタイムの他に、今の旭山動物園の原点ともなったワンポイントガイドを行います。飼育係総出で11時から1時間ごとに数カ所でガイドを行います。内容や時間は園内の掲示板でチェックしてください。どうぞお楽しみに。

動物園くらぶさん奮闘中！

「市民の手作りで、旭川の自慢の動物園４０才をお祝いしよう！」動物園くらぶの皆さんと、読み聞かせ会の方やマイスターが協力して、お祝いの準備をしてくれています。当日は動物園のテーマソングの合唱や大型紙芝居・自然の木をつかっての工作会・４０周年を記念しての市民からのメッセージなどを予定しています。皆さんのご参加をお待ちしています。

旭山今昔

（その５）

40年前の開園当初から旭山動物園で働く飼育展示係に、ある思いをつづってもらうことができました。動物を飼っていて感じる「命の重さ」。飼育展示係の毎年7月1日に行っていた慰霊祭のお話です。また、今年はじめて慰霊碑が公開される7月1日は特別な一日になりそうです。

動物を飼っていくうえで避けて通れないのが世代交代だ。平均寿命が２～３年の動物、60年くらいの動物にとっては、どちは亡くなっていく。今は火葬する施設が出来て、獣医に解剖から火葬までを任せてしまうようになった。そのためか、どうか、近年動物の死を担当者があっさり受け入れるようになった気がする。「これではいけない」昔のあの苦しさを思い出そうとするが、今埋葬は許されない。あの当時の動物達をなくした後の苦しみを懐かしく思うのは私だけだろうか。

毎年7月1日の早朝、ほとんどの飼育係が園内にある慰霊碑の前に集まって亡くなった動物たちに対し、黙祷し慰霊祭をおこなっている。

動物を飼っていくうえで避けて通れないのが世代交代だ。平均寿命が２～３年の動物、60年くらいの動物にとっては、どちは亡くなっていく。今は火葬する施設が出来て、獣医に解剖から火葬までを任せてしまうようになった。そのためか、どうか、近年動物の死を担当者があっさり受け入れるようになった気がする。「これではいけない」昔のあの苦しさを思い出そうとするが、今埋葬は許されない。あの当時の動物達をなくした後の苦しみを懐かしく思うのは私だけだろうか。

毎年7月1日の早朝、ほとんどの飼育係が園内にある慰霊碑の前に集まって亡くなった動物たちに対し、黙祷し慰霊祭をおこなっている。

動物を飼っていくうえで避けて通れないのが世代交代だ。平均寿命が２～３年の動物、60年くらいの動物にとっては、どちは亡くなっていく。今は火葬する施設が出来て、獣医に解剖から火葬までを任せてしまうようになった。そのためか、どうか、近年動物の死を担当者があっさり受け入れるようになった気がする。「これではいけない」昔のあの苦しさを思い出そうとするが、今埋葬は許されない。あの当時の動物達をなくした後の苦しみを懐かしく思うのは私だけだろうか。

毎年7月1日の早朝、ほとんどの飼育係が園内にある慰霊碑の前に集まって亡くなった動物たちに対し、黙祷し慰霊祭をおこなっている。

動物を飼っていくうえで避けて通れないのが世代交代だ。平均寿命が２～３年の動物、60年くらいの動物にとっては、どちは亡くなっていく。今は火葬する施設が出来て、獣医に解剖から火葬までを任せてしまうようになった。そのためか、どうか、近年動物の死を担当者があっさり受け入れるようになった気がする。「これではいけない」昔のあの苦しさを思い出そうとするが、今埋葬は許されない。あの当時の動物達をなくした後の苦しみを懐かしく思うのは私だけだろうか。

毎年7月1日の早朝、ほとんどの飼育係が園内にある慰霊碑の前に集まって亡くなった動物たちに対し、黙祷し慰霊祭をおこなっている。

7月1日、はじめて動物慰霊碑を皆さんに公開します。それにともない、亡くなっていった動物たちに、思いのこもった千羽鶴を贈りたいと考えています。ぜひご協力ください。

動物慰霊碑の千羽鶴を折る会

みんなで千羽鶴を折ります。
6月23日（土）13：00～
動物資料展示館２階
どうぶつ図書館にて

旭山動物園のホームページでは４０年の歴史を振り返る「動物園ヒストリー」↓が開設されています。ぜひ見てくださいね

旭山動物園のホームページアドレス =http://www5.city.asahikawa.hokkaido.jp/asahiyamazoo/